

保健だより 3月号

令和4年3月17日 保健室

気温や花粉対策で適した換気を!!

まだ寒い日もあれば、温かい春の陽気を感じる日も増えてきました。生徒保健委員が調査したところ、皆さん寒さ対策等を工夫し、どのクラスも積極的に換気を実施してくれているということが分かりました。皆さん、ご協力ありがとうございます！

ここで、保健委員会お勧めの**気温対策**とこれから増えてくる**花粉症対策**をご紹介します！

保健委員長

寒い日は、セーターを着たりカイロを持ったりし、暖かい日は上着を脱ぐ等工夫しています。皆さんも気温に応じて自分自身で工夫し、換気を徹底するようにお願いします。



保健副委員長

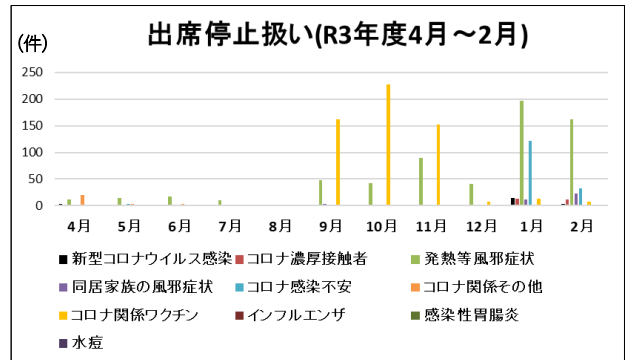
花粉が大量に飛ぶのは気温があがる**12時～14時頃**です。外窓を全開にするのではなく、**10cm程度**開け、カーテンをしましょう。それだけでもだいぶ花粉の侵入を防げます。廊下側の窓と扉は開けておくようにしましょう。

学校保健委員会 1年の振り返り

1. 出席停止件数 **1,495件** (令和2年度の3.2倍、令和元年度の22.6倍)

特徴

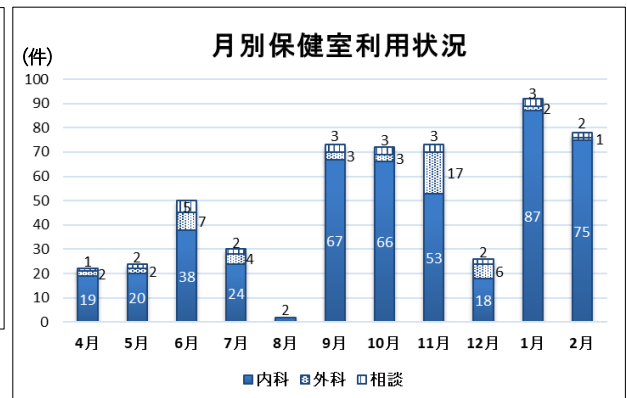
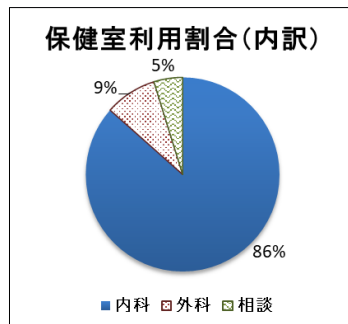
- ①ワクチン関係：9月～11月に増加
- ②風邪症状：9月ころから増え始め、1月がピーク
- ③新型コロナウイルス感染：オミクロン株の県内流行と同じタイミングで発生。
- ④感染への不安：オミクロン株の若年層への感染が身近になったことで不安に思う生徒が増え、出席停止数が増加した。



2. 保健室利用状況

特徴

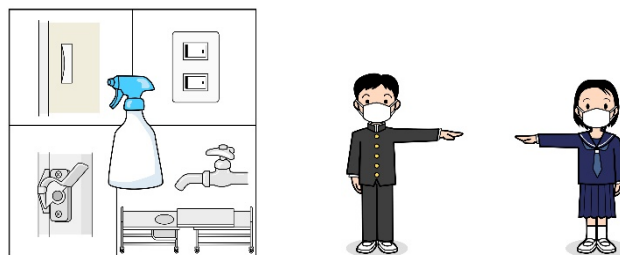
- ①1月92件、2月78件で利用が多かった。
- ②内訳は86%が内科的訴えであった。
- ③保健室早退者は1月が多く、57件であった。風邪症状のある生徒は早退を促し、感染拡大予防を徹底した。



3. 保護者からの質問（回答：学校医 毛利先生）

（1）家族にウイルス感染が疑われる場合、どのように注意すればよいか。

- ①部屋を分ける
- ②世話は限られた方が実施
- ③室内でもマスクを着用
- ④こまめな手洗い、アルコール消毒実施
- ⑤換気を実施
- ⑥手でふれる共用部分の消毒実施
- ⑦ごみは密閉して捨てる



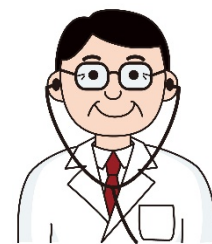
以上を徹底していても、オミクロン株の感染の強さでは感染を阻止できない可能性があります。家族の方が感染していると判明した場合は、自分も感染していると考えて、外出時はマスクの着用、手指消毒を徹底し、用事は最小限にし、人との間隔は2m以上取るようにしましょう。自分にも症状（発熱・呼吸器症状）が出た場合、かかりつけ医がある方は電話で相談、指示があれば受診し、検査を受けましょう。その場合は感染者の濃厚接触者であることを伝えてください。特に医療機関では、駐車場の車内で対応することが多くなっています。



（2）これから新型コロナウイルスが収束する時期はきますか？

正直に言って、誰もわかりません。一般的にはウイルスは必ず変異を繰り返します。傾向としては変異のたびに病原性は低下していくようです。ワクチン接種が進んでからは、重症化率、致死率は明らかに低下しています。ワクチン接種の目的は重症化の防止であったのですが、なぜか感染防御が目的のように言われています。

収束ということ、「重症者が減る、死亡者が減る」とすれば、必ず収束すると思います。これまでは子供の風邪のウイルスであったが、インフルエンザと同じように大人も感染する風邪のウイルスになって収束するのではないのでしょうか。以上はウイルスの専門家ではない、私（毛利先生）の個人的見解です。

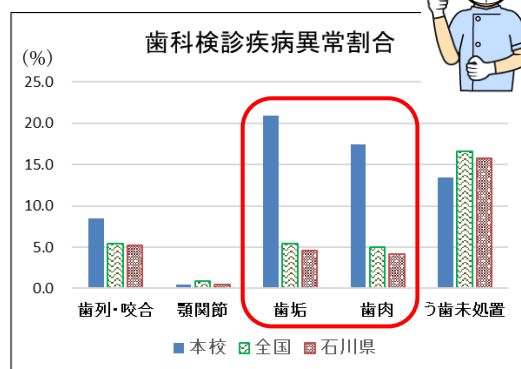


4. 歯科検診結果について（回答：学校歯科医 舘先生）

今回の結果は、虫歯のある方は全国平均でしたが、**歯垢の付着と歯肉に問題のある方が多い**です。これは磨き残しによる影響が虫歯より歯肉に出ていることと思われます。

近年は低年齢の頃より予防意識の高い保護者が定期検診やフッ素塗布を希望されて歯質の強化がなされていると思いますが、高校生になるとなかなか親の目も届きにくいことや部活動や塾などによるライフスタイルの変化が影響していると思います。

本年度は歯科の受診率向上と、歯肉状態の改善を目標にしたいです。



5. 学校環境衛生について（回答：学校薬剤師 北村先生）



保健委員の生徒が中心となり、換気マニュアルを作成して換気を適切に行った結果、コロナウイルスの教室感染を発生させなかったという結果はとても素晴らしいことだと思います。

高校生は感染機会がとても多いので感染者をなくすのは困難だと思いますが、よく対策ができていると思っています。